

コラム

フラグ足し

ユーザーデータの項目（変数）を増やす。

Ver. 1.10 のデフォルト環境ではリファレンスマニュアルにあるとおり、30 + 改行コードになっているが、

改行コードの前に変数を追加することでいろいろな改造システムに利用できる。

デフォルトの項目の先頭や途中に追加するのはおすすめしない。

（例）現在いる街のデータ \$town を追加したい

sub get_user の例。

```
($id,$nm,$ps,$jb,$ig,$sp,$bp,$bn,$ak,$dd,$hp,$xp,$ab,$db,  
$av,$wn,$lz,$dt,$mn,$bg,$xi,$tm,$lf,$fe,$cm,$is,$ht,$fg,$rw,$kl,$town) = split(/<>/,$_[0]);
```

追加記述すべきサブルーチン

- sub make_new
- sub list_order
- sub player_list
- sub simpleview
- sub find_user
- sub get_user
- sub get_partner
- sub userout
- sub partnerout

必須ではないサブルーチンもあるが、後々のために記述しておくのが無難。

sub make_new では変数で書かれていないため忘れがちなので注意。

既にキャラクターがいる場合は、キャラクターデータの書き換えも忘れずに。

サブルーチンの説明

- main program
- sub decode
- sub get_user

このページのコメント